

1 基本情報

事業名称	がん検診受診率向上対策				
事業目的	中区地域計画における「健康を支える地域社会の構築」をめざし、次のことに取り組む。 ○死亡原因の1位である「がん」についての正しい知識を啓発し、がんに対する理解を促すことで、がん検診の受診率向上につなげる。				
事業概要	○健康教育を通じて、幅広い年齢層への情報発信 ○区が主催するイベントや保健センター事業に併せて、がん予防啓発を実施する。 ○日曜にがん検診（乳がん検診、子宮頸がん検診、肺がん検診）を実施できる機会を設ける。				
実施主体	中区役所中保健センター	実施場所	中区役所、原池公園、中区管内（啓発について）	実施時期	令和7年4月～令和8年3月

2 設定指標

活動指標	がんについての健康教育実施人数		R4	R5	R6	R7
		目標	1500人	1,500人	1,500人	1,500人
		実績	1483人	1,455人	1,313人	1,451人
成果指標	過去 2 年間に乳がん検診を受けた者の割合（40～69 歳女性） ※本成果指標は「国民生活基礎調査（健康票）」によるものであり、3年に1度の調査のため、R5～R6における目標値及び実績値なし ※R7「国民生活基礎調査（健康票）」の結果は現時点で公表されていないため、R7の実績値は未入力		R4	R5	R6	R7
		目標	60%	-	-	60%
		実績	43.2%	-	-	

3 事業評価

決算額		346,215		円	
①妥当性	○	②費用対効果	○	⑤総合評価	○
「がん」は日本人の死亡原因の第1位であり、堺市中区の死亡原因第1位でもある。がん検診の受診率を向上させることにより、がんの早期発見・早期治療につながり、重症化の予防や健康寿命の延伸を図ることができる。 また、日曜日にがん検診を実施している医療機関は限られており、平日の受診が困難な勤労世代をはじめとする市民からの受診ニーズは高い。本事業の実施により受診機会を増やすことは、がん検診受診率の向上に向けた重要な取組である。 以上のことから、事業を実施する妥当性が高い。		イベントとの併設や日曜日にがん検診を実施することで、平日の参加が困難な勤労世代等にもアプローチでき、幅広い世代への啓発や受診につながっていることから、費用対効果が高い。		・区民フェスタ時の啓発により、幅広い年齢層の受診につなげることができた。 ・区民フェスタ、日曜日のがん検診では、認知度の向上や周知の工夫、当日申込なしでの受入れを行った結果、受診者数が増加した。 ・がん検診受診者へは、定期的ながん検診や健診等を受ける習慣が定着するよう、継続した働きかけが必要である。また、精密検査対象となった区民のうち未受診者に対して受診勧奨を行い、早期発見・早期治療につなげていく。 以上のことから、本事業は区民利益につながる有効な事業である。	
③庁内・公民等連携	○	④区の計画への寄与度	○		
乳がん好発年齢前の子育て世代の保護者をターゲットにし、子育てサークル、小学校就学前健診参加者に対して啓発を実施した。その際、NPOとの連携により乳がんの体験談の講話を通して乳がんをより身近な問題として捉えてもらえるよう工夫した結果、対象者の関心喚起や理解促進につながる啓発活動を行うことができ、連携の度合いが高い。		イベントとの併設や日曜日にがん検診を実施することで、受診者数は増加していることから、計画における「健康を支える地域社会の構築」の取組に寄与している。		◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外	

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	区民フェスタ、日曜日のがん検診において、新規申込者を優先的に受け入れる仕組みや受診後に医療機関等での定期的な受診につなげていく取組が必要	今後の方向性	継続
対応方針	幅広い年代への啓発やがん検診の受診につなげることができたため、今後も継続して実施する。受入れ枠に限りがあるため、新規申込者を優先する対応等を検討したり、受診者へは医療機関等での定期的ながん検診受診につながるよう勧奨を行う。また今後も様々な機会を活用して、個別検診の受診勧奨も継続して実施する。		